



第1回 官民連携まちづくりセミナー

エリアプラットフォームの設立と
未来ビジョンの策定に向けて
(令和4年度の検討結果を含めた概要説明)

令和5年8月8日

加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会事務局

本日の目的と講師の紹介

- これからワーキンググループが主体となって加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォームの設立及びこのエリアにおける未来ビジョンの策定に向けた協議・検討を進めるための情報共有(目線合わせ)を図る



萩野 正和 (はぎの まさかず) 委員

株式会社connel 代表取締役
一般社団法人STUDIO MOC 代表理事
一般財団法人柏市まちづくり公社
業務執行理事兼事務局長
新潟駅・万代地区周辺エリアプラットフォーム アドバイザー

- 千葉県出身 (ルーツは新潟県新発田市)
- 官民連携による公共空間の利活用推進に関する企画や制度運用計画の策定支援及び実施、ブランディングやデザイン監修といったディレクションなど、まちづくりやエリアコーディネート全般に関して、公共空間の資産的価値と事業性の向上の両立を図りながら、賑わいを創出する取組を各地で多数実践

【取組事例】(一部抜粋)

柏駅前デッキ利活用プロジェクト (千葉県柏市)

21世紀の森と広場 ドコでもシアター (千葉県松戸市)

※グッドデザイン賞2022受賞

町田薬師池公園四季彩の杜 (東京都町田市)

※グッドデザイン賞2020受賞

- 新潟駅・万代地区周辺エリアプラットフォームの設立に中核メンバーとして活躍
- 全国各地で講演活動を多数実施

検討の進め方

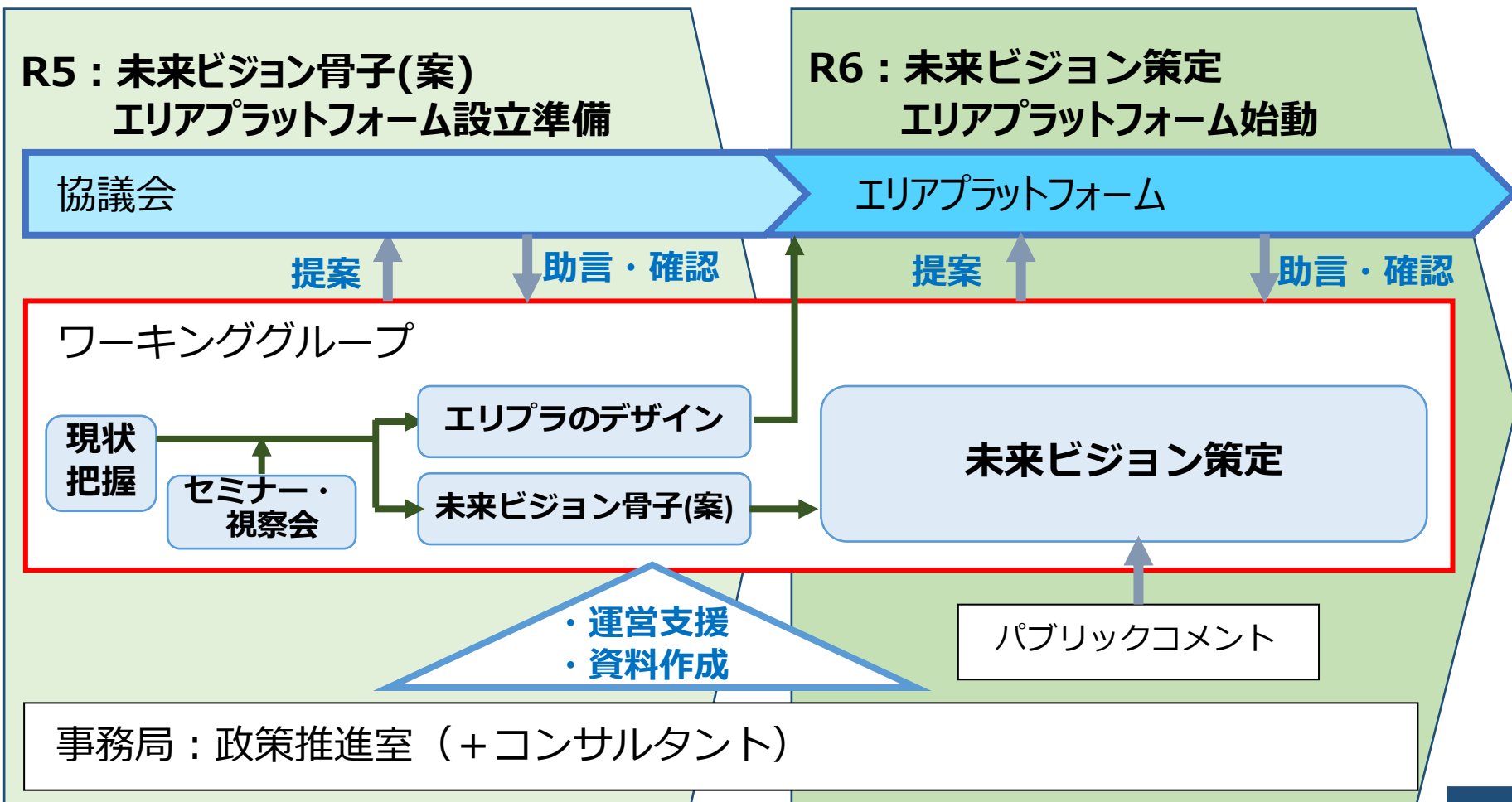
【R5】 協議会の下に、ワーキングを設置

▶ワーキングにおいて、エリアプラットフォームのデザイン、未来ビジョン骨子(案)検討

【R6】 協議会はエリアプラットフォームに移行し活動を始動

ワーキングは引き続き、未来ビジョンを検討・策定

【R7以降】 未来ビジョンに基づく取組を官民連携で推進



R5年度上期スケジュール（予定）

R5.6月

8月

9月

10月

現況把握

目線合わせ

APとしての活動、未来ビジョン策定の意味を肌で体感

APの方針、体制、構成員、財源等議論
未来ビジョン骨子(案)の構成検討

第1回準備協議会

【議事内容】

- ・当事業について
- ・これまでの検討状況 & エリア内現状分析
- ・今後のスケジュール

6/28開催

第1回セミナー

【議事内容】

- ・講師によるエリアプラットフォームや未来ビジョンの解説。
- ・その他議論状況に合わせた内容展開予定。

本日開催

第1回WG

【議事内容】

- ・前回議論振り返り
- ・到達点確認
- ・まちなかエリアで活躍するプレイヤー活動状況 & 資源・資産について
- ・まちなかエリアの今後
- ・エリアプラットフォームでの役割
- ・視察研修について

8/29予定

第2回WG & 視察

【議事内容】

- ・これまでの議論を踏まえ、エリアプラットフォーム & 未来ビジョン設立・策定の先進地にて実際の取組を視察。

10/22 まちづくりフォーラム
10/23 マチミチstudy現地研修会

10/上旬予定

第2回準備協議会

【議事内容】

- ・検討経過報告
- ・到達点確認
- ・エリアプラットフォームでの役割
- ・未来ビジョン骨子(案)について
(関連事業)

10/30予定

R5年度下期スケジュール（予定）

11月

12月

R6.1月

2月

3月

APの方針、体制、
構成員、財源等議論

AP設立後の事業計画、
規約等、案の完成

未来ビジョン骨子(案)
& AP設立案完成

AP設立前
最終確認

エリアプラットフォーム
& 未来ビジョン骨子(案)
の整理

未来ビジョン骨子(案)
の構成検討

第3回WG

第4回WG

第3回準備協議会

第5回WG

第4回準備協議会 & AP設立総会

【議事内容】

- ・ 前回議論の振り返り
- ・ 到達点確認
- ・ 未来ビジョン骨子(案)について
- ・ 持続可能なエリアプラットフォームの体制等について

11/20予定

【議事内容】

- ・ 前回議論の振り返り
- ・ 到達点確認
- ・ 未来ビジョン骨子(案)について
- ・ エリアプラットフォーム(案)について

12/18予定

【議事内容】

- ・ 検討経過報告
- ・ 到達点確認
- ・ 未来ビジョン骨子(案)について
- ・ エリアプラットフォーム(案)について

1/16予定

【議事内容】

- ・ 前回議論の振り返り
- ・ 到達点確認
- ・ 未来ビジョン骨子(案)最終確認について
- ・ エリアプラットフォーム(案)最終確認について

2/20予定

【議事内容】

- ・ 検討経過報告
- ・ エリアプラットフォーム(案)について
- ・ 未来ビジョン骨子(案)について

3/13予定

R6 APによる未来ビジョン策定

【参考】未来ビジョンについて

官民の多様な関係者の連携・協働によるまちづくりを進めるためには、プラットフォームメンバー及び市民がエリアの将来像について共有することが重要

未来ビジョン

未来ビジョンの記載事項（例）…具体的な内容は協議会・WGで検討

地域の特性の現況分析

エリア内の強み・弱み・機会・脅威など

地域の特性を踏まえた目指す姿

ビジュアルで示すエリアの将来像

目指す姿に向けた施策と役割分担

将来像を実現するための方針や施策、実施体制（役割分担）

目指す姿にむけたロードマップ

将来像を実現するため、各段階ごとの取組の内容等（短期、中期、長期等）

令和4年度の検討内容について

○外部有識者を含めた会議で

現状分析や方向性等R5年度以降の活動のあり方を協議

日程	第1回 (R4.11/22)	第2回 (12/5)	第3回 (12/22)	第4回 (R5.1/17)
検討内容	<ul style="list-style-type: none">● 現状分析● 対象エリア	<ul style="list-style-type: none">● 対象エリア課題と将来像イメージ● 課題に対する打ち手の検討	<ul style="list-style-type: none">● 具体的な取組案● 今後の活動体制の検討● 今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none">● 協議内容のとりまとめ

【エリア内の強み・弱み・機会・脅威】

強み

- ・コンパクトで歩きやすい環境
(例:加茂駅、アーケード付き商店街、加茂山、加茂川等)
- ・人口比に対する駅利用者数が多い
- ・イベントによる多数の観光客来場
- ・歴史的文化財が点在
- ・商店街→個性的な店舗多数

弱み

- ・ヒトの滞留や回遊が生まれにくく、賑わい創出や消費活動に結びつかない。
(例:駅利用者が商店街を利用しない等)
- ・観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない。
(例:宿泊施設、駐車場の不足・認識しにくい等)
- ・商店街空間らしいデザイン配慮不足
- ・バリアフリー化できてない駅舎

機会

- ・コロナ禍での社会変容
(例:屋外利用価値向上、リモートワーク等)
 - ・DX、移住、二拠点居住トレンド
 - ・地方創生ブーム
 - ・インバウンドの復活
- など

脅威

- ・高齢化・人口減少→店舗廃業リスク
 - ・施設の老朽化
 - ・小売業の販売方法変化
- など

エリアの強み

◆コンパクトで歩きやすい環境

JR加茂駅から伸びる、近代化されたアーケード付き商店街を中心に、個性的な街路や街区、加茂山・加茂川といったまちの資産がコンパクトに集積し、歩きやすい環境が整っている。



アーケード商店街



加茂山



加茂川



JR加茂駅

◆人口比に対する駅利用者数が多い

加茂駅を利用して通学する高校が3校、大学と短大が各1校あり、学生を中心に、人口（約2万5千人）比における駅利用者が非常に多い。

◆歴史的文化的財が点在

◆商店街→個性的な店舗多数



青海神社

エリアの弱み

◆ヒトの滞留や回遊が生まれにくく、賑わい創出や消費活動に結びつかない。

- ・ 駅利用者や商店街周辺自然空間利用者が商店街まで足を延ばさない
- ・ 駅周辺のパブリックスペース（公共空間）不足



イベント時に商店街まで人が来ない

◆観光客のピーク時に、それを活かす環境ができていない。

- ・ 宿泊施設/駐車場数・視認性不足
- ・ イベント時の情報発信力不足
- ・ 個々で行われ連携されていないまちづくり・賑わいづくりの活動



- ◆ 商店街空間らしいデザイン配慮不足
- ◆ バリアフリー化できてない駅舎

機会

◆コロナ禍での社会変容

- ・「屋外」という魅力価値の向上
- ・場所を選ばない働き方（リモートワーク等）



◆DX、移住、二拠点居住トレンド

◆地方創生ブーム

◆インバウンドの復活



脅威

◆高齢化・人口減少による店舗廃業リスク

◆施設等の老朽化

◆小売業の販売方法の変化

- ・インターネットによる無店舗販売等、消費行動の変化



検討会議で議論した方向性

キーワード

居心地のよさ

まちの資源を活かす

歩いて楽しめる

必要な要素

地域住民の生活の質向上

商店街を中心軸に
周辺資源の関連付け

回遊性と滞在性の向上

熟慮すべき4つの軸

交通再編による アクセス性の向上	<ul style="list-style-type: none">● JR加茂駅及び駅前広場の再整備による都市交流機能の強化を目指す● 当該エリアに適した交通手段とまち歩きを組合せることで回遊性と滞在性の向上を図る
既存ストックを活用した滞在性・回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none">● 空き家・空き店舗を有効活用した宿泊施設等により滞在性の向上と消費活動の促進を図る● 空き地を活用したイベントや週末駐車場の設置等により利便性の向上と賑わいの創出を図る
賑わいを生むまちなかの拠点づくり	<ul style="list-style-type: none">● 地域のつながりや賑わいを再生する多世代交流の場として、地域拠点の整備を図る● まち全体の情報の集積・発信を担うまちのシンボルとしての「ショーケース」化を推進する
最高に幸せな日常を感じるまちのブランディング	<ul style="list-style-type: none">● 既存アセットを磨き上げ、加茂に暮らす人々が日々を生き生きと楽しむ姿を日常的なコンテンツとしてブランディングし、市の内外に向けて発信することで、各種(関係、交流、移住、定住)人口の増加を図る

まちなかエリアの将来イメージ (ありたい姿の仮説)

※これからの意見交換や議論・検討の素材として作成したもので決まったものではない

「最高に幸せな日常を感じるまち」をコンセプト
としたエリア全体のブランディング

幸福循環の
まちづくり

➤ 加茂市のファン (関係人口) 増加

➤ 市民のシビックプライドの高まり



● 賑わいを生むまちなかの拠点 (多世代交流)

⇄ みず・まち・みどりをつなぐ軸

※図面上の位置はイメージであり、決まったものではない

東西市街地間での
新たな人の流れによる
賑わい創出

既存ストック (買い物・医療・
全天候型ストリート等) を活かした
楽しく、暮らしやすいまちづくり

加茂川を軸とした賑わい創出
・河川敷空間の有効活用
・歩いて楽しい水辺空間

都市交流機能の強化
・JR加茂駅及び
駅前広場の再整備
・交通手段とまち歩
きを組合せ

加茂山公園の魅力向上
・まちなか自然・歴史体験
・賑わい、交流機能の充実

既存ストックを活用した滞在性・
回遊性の向上 (エリア全体)
・空き家・空き店舗の有効活用
・空き地を活用したイベントや
週末駐車場の設置

